

國道舗装工事實現に

關係民懇談會を開く

進展遲さを遺憾として

二十六日マルトモホールに

既報、平町本町通りの國道舗装工事は目下縣當局に申請はしてあるが縣廳内の入事異動に次いで今回の繰選舉準備に忙殺される縣當局への運動がはかどらないので此際一般の輿論を涵起せんと廿六日午後六時より伏

雪なしの珍現象に

天然氷大打撃

未だ一回も採取出来ぬ

雪なしといふ此七年の珍現象は各方面に悲喜交々の交錯奏を混じて居るが最も適切な打撃を蒙つて居るのは天然氷の採取業者らしく今年はまだ一回の採取もせず夏期の營業不能に陥り生計が成り立たないと正に青息吐息の体である

産馬の調査

徹底的に行ふ

石城郡畜馬組合では生産馬の増加並に傳染病の發生防止等を目的としてこの程からその根本調査を續けてを

平農業倉庫の共同米を落札

平農業倉庫に於いて昨廿二日行はれた平窪村信用組合の産米共同販賣は四等十一俵、五等卅九俵、等外四十四俵、合計九十四俵にて入札の結果四等八圓五錢、五等七圓八十五錢、等外七圓六十五錢を以て古鍛冶町の大谷要次郎氏に全部落札された

縣下小學校校長會議

一月卅日實業補習教育主事出席のもとに神谷村農業補習學校に開かれる筈

協事事項

一、教員の思想言動に関する件
二、女教員の活動に関する件
三、技能教科の實績向上に関する件
四、健康相談の實施に関する件
五、体重不足者の取扱に関する件
六、青年訓練所生徒入所出席の成績向上に関する件
七、青年訓練所修身及公民科の要旨徹底に関する件

注意事項

一、兒童看護に関する件

希望事項

一、農繁期託児所設置獎勵に関する件
二、打合せ事項、聴取事項
三、學習態度の養成に関する件

村井知事の濱通り初巡視

新任村井本縣知事は目下縣下各地の視察中であるが石城、双葉、相馬等の濱りの初巡視は廿五、廿六、廿七の三日間に亘つて行はれる事に決定した

雑種地拂下

石城で十二萬圓 平稅務署では大正十四年來國有雜種地の整理を行ひ民間に拂下げてゐるが石城の海岸における三百五十町歩はすでに全く處分を終りその他の山林平野畑等もまた縁故拂下げの方針をとりすでに二千六百件十三萬四千五百八十六間に達し石城郡三坂村の一部を除く大部分雜種地の整理を完了した

進むか問題

無産黨注目さる 總選舉對策 労働大衆黨石城支部の三輪壽造氏推薦運動は議會解散と共にいよいよ濃厚となり綿引、原田の各幹部は炭礦地の同志間に奔走して居るので縣下唯一の無産黨地盤だけにその状態は注目されて居るが松本支部長の病氣の際と過般の縣會議員選舉當時の戦績からどの程度まで進むか問題となつてゐる

節分豆蒔式次第

二月四日 縣社子歌會執行仕候 午後一時修拔 同一時半家内安全祈禱 普通會費金二十錢 (御加入の方には、家内安全祈禱 御神札、福豆、御神酒呈上) 特別會費(男)金五圓 (御祈禱札、福升、福豆、本膳引物)付仕度料も含む

特別會費(男)金五圓

主催 石城福和內會

往來

△元縣議鈴木辰三郎氏、本日平野午前十一時五十六分着にて歸平
△縣議萩原義雄若松美三の兩氏準急にて上野より
△辯護士千葉彦治氏、今朝八時發列車にて福島へ

平町人事

出生

△一丁目二二 當時石城郡湯本町日渡八尾喜久二氏四女和子
△一丁目一七 丸山小次郎氏二八 宮城縣登米郡沼町東佐沼佐々木ミツ(二三)

死亡

△一丁目 當時石城郡湯本町日渡八尾喜久二氏四女和子
△南町五八 當時東京氏京橋區入船町四丁目一犬谷ヒサ(五六)

悲惨な一家に

消防員の涙

平は暮しよいと聞いたも夢

病妻を抱へて一家飢ゆ

既報廿一日平消防組の火防
督勵に當り久保町方面を受
持つた伍長田中宣治、片寄
敬太郎の兩氏は

受持區内を調査中同
町四魚行商人猪狩元(三)方
で妻コマ(三)は永年の病で
起つて夫は資本が無い爲め
全然商賣が出来ずに十五歳
を頭に六名の子供を抱き僅
かばかりの家財道具を賣拂
つて悲惨な生活を續けて居
るのを見て同情し事情を聞
くと猪狩は大沼郡沼澤村生
れで數年前樺太豊原市元町
で魚行商を行つてゐるうち
豊原の大火に焼出され

一時郷里に引擧げた
が平明は暮しよいと聞き二
年前前記久保町に一家を構
へたが以來妻コマは病み倒
れて魚行商も思はしからず
今日に及び家財道具とて何
一ツない有様に兩伍長は金
二圓を與へて引擧げた事本
日判明したと

その他農村經濟の行詰りは
愈よ深刻化せんとし一方抵
當物件の落着は遂に償還不
能状態にまで陥らしめ農工
銀行平支店から濱三郡及び
田村郡の一部に投資した五
百萬圓の地方貸出は去る廿
日償還期であつたが窓口

に殺到するものは何れも借
入申込のみで償還は全く見
當らない有様である

人犬狸等々

入り亂れ戦ふ

カチカチ山に居さうな

狸を捕へた話

コレはお珍しいカチ／＼山
にでも居さうな狸を捕へた
話所は川前村地内の山林日
時は一月廿日登場人物はカ
ウントリーセントルマン、
アマチュア獵師若外一名ボ
インター種か何か犬二ひき
これだ

あたりみて

俄然極度のユーウツ

に胸をいためながらひた走
りに逃げたものである、一
行は附近をくまなく搜索し
たが皆目ゆき方知れず、と
は云つてもどこにも遠くへ
は逃げのびた形跡はなし又
生憎シャロツクホルムズで
もルパンでもない彼等が探
しあぐねて思索投首氣がつ
いてよく注意したか枯柴で
おほはれた塚、といふと彼
等人間の淺はかな智慧が発
見した様だがちがひます臭
覺においてはるかに人類を
超越してゐる我ボインター
氏が愛らしくも腰のところに
で訴へたる様に叫んでゐた

全部顔が、そろいまし
たさあ開きたまへ、この三
人二ひき十四足の一行が兎
か雉子か何か獲物を心かけ
て冬の山に分け入つたもの
である、所が出るも出たり
狸の夫婦腕自慢のアマチュ
アねらひは見事はづれてま
ぐれあたりを忽ちヌスタスキ
は倒した何年つれそふたか
愛妻のあへなき最期を眼の

農銀の回収

頗る困難

濱三郡地方の農漁村では舊
年來の切迫に伴ひ肥料代及
び産業經營資金並に諸低利
資金の仕拂延期、燃料及び
船員、小作米の減額要求、

のを見つけたにひかれて連
想したものである、すはこ
そとばかり三名の勇士おつ
と

銃で柴の上から腰を
突つたものである、だ
が、だがもう一度だが彼等
にとつて最も不幸なことに
は狸公の影だに見えないさ
い三さい四探した結果神よ
お助けなされたか諸君安心
して下さい棒につかまつた
狸、狸、嬉しうねえ
アメリカ發見のコロンブス
以上の探検な表情をした三
名の彼氏等居た、居た、居
た、だが腰からあけるにど
うします名案！長い毛を棒
にまさつて上におげやう
と

努力した、がどうした
事ぞ地球の引力が彼氏等よ
り強かつたか、それとも狸
氏の力が勝れてゐたのか金
輪際に思が生えたか動かば
こそアレヨ、アレヨ、と申
すばかりでさつぱり地上に
姿をあらはさないさてもさ
てもつらさことですなあと
ころが先のボインター兩氏
俄然猛然とび掛りむ
りやりに引ずりあげたもの
である、それから犬、狸
猛烈な闘争形態に入る、彼
等三名必死に引きはなした
開かばこそ川前山中犬の總
攻撃展開モノスゴキシン
である、やつと

書食から山火事

昨日上荒川の山林燃ゆ

石城郡内郷村字御鷹綱掛源
次郎次男源藏(八)は昨廿二
日午前十一時半頃飯野村大
字上荒川字笑堂地内山林の
公有採草地に枯木取りに行
き立木を集め火を起し書食

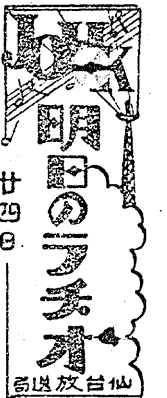
政民共に選挙戦

用意の協議

政友は廿六日

民政も其前後

石城政友部會總會は總選舉
を目前に幹部が目下三丁目
クラブに集合準備を進めて
あるが尙民政部會でも同様
協議をなしてゐるが支部の
總會が二十六日と決定した
のでその當日前後に開催す
べくそれ／＼準備をなし二



今夜は北西の風
小雪模様、日
は晴れたり曇つ
たり

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間)
をどりのおけいこ「子供
のテキスト特選童謡舞踊
花柳珠實
後七、三〇 英語講座「中
等科」(一)の六梅谷典
後七、三〇 講演陸軍大將
大庭二郎
後八、〇〇「步兵隊隊八
甲田山雪中行軍遺難記念
の」

明日の部

後九、四〇 時報 全國ニ
ユース 氣象通報 番組
豫告
前九、三〇(子供の時間)
童謡と唱歌 TOKK唱
歌隊
前、〇、〇〇 宗教講話
「歡喜抄」成瀬賢秀
後、〇、四〇 講演
地並滿洲出動軍人家慰
慰

安の集ひ 在東京青森縣
修交會主催(歌舞伎座よ
り中繼)
後三、〇〇 運動競技「加
奈陀ラグビー試合状況」
花園議ランドより中繼
後六、〇〇(子供の時間)
童謡「この心」土田博
後六、三〇 時事解説 大
坂日新聞社 東馬恭
後七、一〇 講演(我國防
競馬)帝國競馬協會理事
長伯爵松平健壽(國の
と馬)陸軍大臣荒木貞夫
と馬)農林次官石黒忠篤
係)農林次官石黒忠篤
後八、〇〇「第九回在滿
同胞慰安の夕」
後九、三〇「スキー民話
戀ふる思ひを」松外

平業紹介所報告

求人部

- △出前員 廿三迄、尋卒
月七八圓位(田町某料理
店)
- △商店雜役 廿五才、尋卒
給料面談(江名町某海産
物店)
- △豆腐製造助手 四十以下
尋卒、月五圓位(草野村
某豆腐店)
- △女中 廿才迄、尋卒、年
五十圓位(白銀町某店)

求職部

- △集金係 高卒、給料面談
(秋山縣某)
- △商店雜役 高一修、給料
面談(平町某)
- △電気職工 廿六才、高卒
給料面談(平町某)
- △産看護人 五八才、日給
三十錢位(平町某)



小説 (百卅六) 渡邊 默禪作 布施平八郎 畫

親族會議 (10) 「歌治待つとつたぞ、さア 出い出い」 車から曳出されてふらふらと踏いた歌治は、その男の顔を月明りに見た時にぎよつとした。それはさきの夜、湖月の奥庭で自分を撲りつけた名を知らぬ壯士であつた。

「あら、ひどい……如何するのさこんなどころへ引つ張り込んで来て……おふざけたと承知しないわよ」 「やかましいッ、此方へ来いッ」 一人は強く手を執らへた 一人は後へ廻つてどんと腰を壓した。

「何を爲るんだい、失禮なッ」 歌治は叫んだ。 振解かうと腕き立てた体はたあいもなくするん、と良かれて、忽ちのうちに板戸のなかに汲い込まれて了つた。

黒眼鏡の運轉手はその途端に手早くスキッチを切つて點火を消した。が遅かつた。曳置られながら、車の後に目を投じた歌治はちらりとその番號を見た。それが實に偶然に與へられた刹那の機會であつた。

び電話をかけて見るともう遠くの前に出かけたといふ返辭だつた。そつちへ行つたり此方へ来たり。うろうろしてゐるうちに約束の時間から余程角が出た。彼はすつかり絶望してもう駄目だと投出してつた それまでのうちに議事は

ずん／＼進行してあらかたの相談が済んだ。支配人の川島は立つて一場の演説らしい挨拶を試みた。 「ちよつと、皆さんに申し上げます。最初に辯明して置きたいことは當家の雇人木村が私に對して放つたところの罵詈雑言であります。これがもとより恨も葉も無い嘘八百、單一私を傷つけようとした其場切の無責任な暴言に過ぎません。事實は、よりも雄辯であります。御覽なさい。證據があるの證、があるのと放言しながら今だに何等提供す



敢てしませう。 只誠心誠意、この十文字家の爲につくそうとして殆んど寢食を忘れて一切の利害を犠牲にして勤勉努力して居るのに足下から突然このやうな狂犬が飛び出して咬みつきかみつつかつたのは、實に意外とするところ遺憾に堪へない次第であります」 それを聞く人たちの多くの心には各自に違つた感想を喚び起した。川島に同情して彼の詞そのまゝを濁りのない眞清水として直ちに飲下した者もないではなかつた。

カスを瀝さなければ喉に入れられぬと思つた者もあつた。全く飲むことの能さぬ微菌だらけの泥水だと然う見た人もあつた。取分源之助は苦々しい顔をして千代子と目を見合せてゐた。そして清作が呼寄せようとしたことがよく分つてゐる歌治が来なかつたのを、不審とし残念にも思つた。

誠に便利な 商 品 券 金額の多少に不拘調 製致します 平町南町 烏肉商 烏菊

大塚の 學生靴!!! 耐久新製品 編上靴 六〇〇 半靴 五〇〇 不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を…… 大塚支店製靴部 電話七七番

御用命は印刷物の 常磐日印刷株式会社 電話三六〇番

専門 内科一般 川井内科診療所 住宅診 内科は何でも診療致します 往診 呼吸器病ばかりではありません 平町南町六五 川井重子 川井安子

御會葬御禮 一月二十三日 平町 山田春

新歸朝斯界の麗人 天勝一座五十余名出演 特別補導出演 松旭齊天外師 大魔術 歌劇、寸劇、ジャズ、大レビュー 毎日大景品呈上、特に平行進曲上演 二十一日より 五日間五時開演 聚樂館 プログラム (毎演替り) 1. 劍劇レビュー 2. 龍宮後々物語二景 3. 小奇術 4. 歌曲 5. シンデレラ 6. 大魔術 7. 新ボラトビル十種 8. 銀座行進曲二景 9. 大奇術 10. 文劇茶釜二景 11. 大奇術 12. 平行進曲

井の 手切商品 電話三八三番